

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023 年	5 月	13 日	(記入者) 宮本正博	
取材参加者	石井	小倉	鈴木	西田	西野
	宮本	本井			
取材対象先	奈良市：森家住宅				

所在地	奈良市南城戸町66				
所有者(取材 対応者)名	個人 ***氏 (個 人情報守秘)		連絡先 ***		
			PCアドレス		
取材申込	申込先 *** 氏				
市町村 指定文化財	彫刻	軀	名称(指定年月日)		
	建造物	1棟	森家住宅 2004(平成16)年3月3日指定		
文化財指定理由	奈良の町家の典型として重要な建築。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	市指定文化財として各場所きめ細かく、火災検知器・煙感知器が整備され、中央の火災報知機に直結している。家主・家・近所に異常があれば警報で知らせる。また、各部屋押入れや中庭の廊下に耐震壁を入れ耐震の強化をしている。	報知器の点検も定期的に行われ市や消防署に報告されている。
獣害対策	特にない。	2011(平成23)年に半解体修理が終わり、それ以後被害はない。
保存～継承へ 苦労と今後の 課題と対策	家主のお話では明治20年代建築の町家が1937(昭和12)年森家の本宅になりそれ以来しっかり受け継いできた。住いして100年強となった頃に、明治中期の典型的な町家として文化財認定された。2011(平成23)年、半解体改修され建築当初の姿に復元された。家主の想いもあり屋号を「ざ・ふおーれすと」と名付けくつろぎの場として、手作り飲食店やゲストハウスを営んだり町家の期間限定見学を引き受けてきた。現在も必要に応じて見学や使用を提供している。今後、引き継いでくれる方がいてくださることを願う。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

奈良町で伝統を守る難しさと苦労を家主の話から感じた。市は修復や耐震・湿気防止装置・防火対策など万全の維持・管理を努力している。住人は町家という文化財を維持し後世に残すために努力している。両者が奈良町を活性化させるため力を合わせているのを感じた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	5月	13日	(記入者) 宮本正博	
取材参加者	石井	小倉	鈴木	西田	西野
	宮本	本井			
取材対象先	奈良市：森家住宅				

《写真撮影許可済》

文化財指定名 森家住宅

文化財（正面写真）



青竹色の色土壁・中二階への梯子と金剛組修理板



文化財（奈良格子・ミセノマ）



ミセノマの網代天井



(天井から床下) 除湿管・耐震壁



地域の現状や取り組み

市の地域構想で「奈良町の賑わいづくり」を実施している。街づくり活動を原動力に「歴史・文化」を基盤とした「暮らし」「生業」「観光」の相互循環を創出する歴史都市型のコンパクトシティを目指す取り組みで、住民が中心となって街を盛り上げ貴重な遺産を守る活動をしている。最近も奈良町のお茶室拝見で森家などの見学会があった。以前に増して町家に店ができて観光客が増え奈良町に活気が出ている。